

食品残留農薬試験結果

【食品化学科】

毎年、定例の行政検査として県内産主要農作物の残留農薬試験を実施している。

平成9年度については、ねぎ、らっきょう、メロン、すいか、トマト、二十世紀梨、豊水梨、ながいも、りんご並びに玄米の10品目47件について食品衛生法に基づく規格基準が設定されている53農薬（カドミウムを含む）、合計1,516項目の残留量試験を実施した。

その結果は表1に示すとおりであり、トマトについてシベルメトリンが0.02ppm、二十世紀梨についてジクロルボスが0.01ppm、豊水梨についてフェンバレレートが0.006～0.012ppm、クロルピリホスが0.01ppm、りんごについてフェンバレレートが0.006ppm、玄米についてプロピコナゾールが0.02ppm、重金属としてのカドミウムが0.01～0.14ppm検出された。

表1 食品残留農薬試験結果

検体名	採取月	検体数	試験項目数	試験結果（単位：ppm）
ねぎ	5	5	26	すべて不検出
らっきょう	6	5	24	すべて不検出
メロン	6	3	29	すべて不検出
すいか	7	5	31	すべて不検出
トマト	7	5	35	シベルメトリン（0.02）1件 その他すべて不検出
二十世紀梨	8～9	6	38	ジクロルボス（0.01）1件 その他すべて不検出
豊水梨	9	5	38	フェンバレレート（0.006～0.012）2件 クロルピリホス（0.01）1件 その他すべて不検出
ながいも	10	3	19	すべて不検出
りんご	11	3	36	フェンバレレート（0.006）1件 その他すべて不検出
玄米	11	7	38	プロピコナゾール（0.02）1件 カドミウム（0.01～0.14）7件 その他すべて不検出
合計		47	1,516	